



市民の願いにこころ寄せて議員活動に全力

日本共産党 京都市議員

西村 よしみ

2017年 12月10日(日)

議員活動報告 NO. 282号

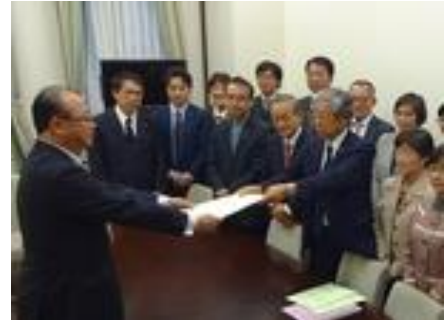
○西村事務所 右京区梅津高畝町39

TEL, FAX 872-9653

○自宅 右京区梅津東構口町17-405

TEL, FAX 864-2009

新年度予算要望提出



日本共産党市議員団は、「2018年度京都市予算編成に対する要求書」を門川市長に提出しました。

安倍内閣は破綻が明らか「アベノミクス」と格差拡大路線、憲法9条改悪の動きをすすめています。その結果、市民生活へのしわ寄せが進み、その危機と矛盾が深まり、平和と民主主義も脅かされる事態が拡大しています。来年度予算編成にあたって、1、憲法9条改悪を許さず、憲法を生かす市政運営。2、「京プラン」の撤回。社会保障、福祉の増進。3、地域循環型の産業政策推進。4、原発ゼロの実現。5、「公的サービスの産業化」「稼ぐ自治体づくり」。規制緩和の都市機能集積の京都創生総合戦略を転換し、京都の良さを守るまちづくりを基調とするよう求めました。予算要望書は市議員ホームページに掲載しています。

嵯峨中学で防災訓練

右京区の総合防災訓練が12月3日、嵯峨中学校のグラウンドを会場に行われ来賓参加し激励しました。

この日は晴天。少し暖かな日となり周辺広沢学区の皆さんと中学校生徒も大勢参加しバケツリレー消火訓練、土のう作成訓練、避難訓練など行いました。

西村市議も参加者を激励。改めて防災訓練の大切さを学びました。



観光と民泊で申し入れ



議員団の提案を発表し、京都市へ提案しました。京都市はこの条例について、条例制定の案を示しパブリックコメントを実施して来年度2月市会に新条例の提案をする予定です。わが党市議員団は、この条例案では、市民生活に重大な被害を与えている違法「民泊」などを規制するには極めて不十分な内容であることを指摘し、規制や運営などの具体的に提案しています。

さらに、新条例について同日、京都市産業観光局に対し、「市民生活を守る立場で厳しい規制条例をつくるべき」と申し入れ。観光と民泊の課題について申し入れを行いました。

障害者団体のまつい激励

「みやこふれあいまつり2017」(主催 社会福祉法人みやこ)が右京区西院中学校グラウンドで開かれ、参加し皆さんを激励しました(下の写真)。

この催しは、障害者と家族の皆さんが地域の皆さんとふれあい・交流する企画です。西村市議も毎年参加しています。今年は少し寒い日でしたが、西村市議は暖かいカレー、お餅など頂き、楽しく過ごし交流しました。障害者の皆さん、家族関係者、地域からもたくさんの方々が参加し、バザー、出店、舞台出し物を楽しみました。皆さんご苦労様でした。



市民と共に憲法と暮らし守れ

「いのちと暮らし、雇用と営業、憲法を守り、生かす府政、市政を」求める秋の総行動」が京都市役所前で行われました。

日本共産党京都市議員団も参加し、地方創生の間から呼びかけられている全国3000万人を目標とした「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」の宣伝と署名にも取り組まれました。

市議らは通行の方々へ、安倍政権のもとで、9条3項に自衛隊が書きこまれることの危険性を訴えました。「9条改憲NO」の署名を京都府内で60万人の署名を集めようと呼びかけられています。ぜひ、ご協力ください。

